



ふくちやまし

# 議会だより

No.23

平成10年8月10日

発行 福知山市議会

編集

福知山市議会だより編集委員会

福知山市字内記13の1

☎0773(22)6111



畑いっぱい咲く「市の花」ぎぎょう（7月1日奥野部）

## 6月定例市議会の概要

6月定例市議会は4日から25日までの22日間にわたって開かれ、平成10年度一般会計補正予算など13議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決したほか農業委員1名の補充推薦を行った。

また「全ての核実験禁止と核兵器廃絶を求める」ことを全会一致で決議した。

請願は4件提出され、2件を不採択、2件を継続審査とした。

### ▼補正予算

一般会計で6、572万2千円を補正し補正後の総額を278億8、522万2千円とした。主なもの奥野部に建設される精神障害者、精神薄弱者通所施設それぞれへの補助。平成12年から発足する介護保険制度の準備経費など。

### ▼条例

選挙の投票時間が2時間延長されることに伴い、投・開票立会人などの報酬を引き上げるなど5件の一部改正。

### ▼その他

専決処分（個人住民税の特別減税を内容とする市税条例の一部改正）の承認など。



# 一般質問

## (6月定例会)

**空き店舗対策は・北部地域に通院バス運行を・心の教育について**

自民クラブ

**質問** 中心市街地活性化法案が5月に参議院を通過し成立した。ドーナツ化現象解消は大きな課題であり、本市も名乗りをあげては。

**答弁** 国はまだはっきりとした運用方針を打ち出していない。市としては中小小売り商業活性化基本調査に取り組みたい。

**質問** 当初予算にあがっている空き店舗対策などの執行状況は。

**答弁** 商工会議所が取り組もうとしている空き店舗対策は国、府からの補助金と市の補助金を合わせて3,100万円。新町センターの改修も含んでいる。更に市として単独で空き店舗の事業展開を図っていく商業活性化委員会を、商工業者、消費者、学識経験者などで早急に作り上げたい。

**質問** 北部は過疎化が進み高齢化の一途。上野条・喜多・大呂などでは通院手段がなく近所の人や家族が仕事を休み送迎しているのが

実状だ。安心して暮らせる環境づくりのため車両運行を。

**答弁** 中六人部・庵我のバスは住民の足を守るということで発足した。通院のためとすると考え方が変わってくる。検討するが地元のみ皆さんの力に期待したい。

**質問** 豊かな心をはぐくむために親子で自然・農業などの体験学習をする機会を。

**答弁** PTA、公民館等で世代間の交流を含めた体験事業を進めてもらっており、教育委員会としても平成10年度重点施策として心の教育をする場を提供すべく準備をしている。



**不況の実状と対策・郵便投票・教育と環境問題について**

市民クラブ

**質問** 不況の実状とその対策は。

**答弁** 本市も全国的状況と変わらず、不渡り手形の件数も増加しているし、商工業の販売額をはじめ卸しの額も年々落ち込んでいます。また、雇用の面においても就職希望者数に対し求人数は少なく深刻な実状である。しかし、

円安の結果長田野企業は昨年度これまでにない1,803億円の生産をあげたし、また、国が行った減税や銀行等への経済対策と合わせ、従来から実施されている公共事業の国道9号線等に加え、駅の高架事業着工は本市経済に良い影響を与えるものだ。

**質問** 選挙における郵便投票の対象者数及び証明書交付の人数は。又証明書交付の期限が切れる方への対応は。

**答弁** 郵便投票の対象者数は把握していない。証明書交付の人数は現在17人。証明書の期限が切れる

### 郵便投票証明書交付申請書

郵便投票証明書交付申請書  
公職選挙法施行令第五十九条の三の規定によって郵便投票証明書の交付を受けたいので、必要書類を添え申請します。

平成 年 月 日

現住所  
選挙人名簿に記載されている住所  
生年月日

氏名  
選挙管理委員会委員長 様

方への対応は、これまで行っていないが、今回から再交付のための書類を郵送する。

**質問** 投票所の代理投票について。

**答弁** 代理投票は申し出があれば行うようになっていく。車イス用スロープもできる範囲で行っていく。

**質問** 心の教育で教師と生徒の関係を重視し教師のカウンセリング能力の向上についての考え方は。

**答弁** 教師の能力の向上には必要で府・市で教員に研修を実施する。

**質問** 地域に開かれた学校として空き教室を福祉、郷土資料室等に利用する考え方について。

**答弁** 余裕教室は多目的室や展示室として活用をはかっていく。

**質問** 環境対策室の組織改正、また斎場のダイオキシン対策は。

**答弁** リサイクルプラザを想定して人員確保をした。また、斎場のダイオキシンについては問題ない。



消費税減税を国に要求を・福寿園を公立特養ホームに

日本共産党市会議員団

質問 消費税減税を国民の6割が願っている。経済界からも、従来型の経済対策ではなく、消費税減税を求めている。国に対し、消費税減税を求める考えは。

答弁 消費税の3%への引き下げは不可能だ。

質問 介護保険制度を控え、福寿園の改築はどうなっているか。以前、公立で改築すると議会で答弁してきたが、その考えは。

答弁 検討している。建てないとも建てるとも言っていない。

質問 同和行政で、子ども会への補助が500万円と、一般施策の十数万円と比較してかけ離れた額になっている。同じ制度のもとで市民が暮らせるようにすべきだが。

答弁 不当だとは考えていない。

質問 同和施策の住宅新築資金等貸付事業の償還率が、全国平均は90%だが、本市は20%台。どのよ



◀老朽化した福寿園

うな見解か。

答弁 大きな課題と考えている。人員も強化して回収に努力していきたい。

質問 強制減反のおしつけ、そして米価が下落して、農業をとりまく状況は大変深刻。このような農政への市長の見解は。

答弁 減反は国の方針でもあり、やっつけていかなければならない。価格の問題は指摘通りだが、市は市のやり方でとりくんでいく。

質問 学習指導要領の改訂作業が行われている。子どもたちにゆとりを保障することが大切だが、教育長の見解は。幼稚園教諭の少ないところもあるのでは。

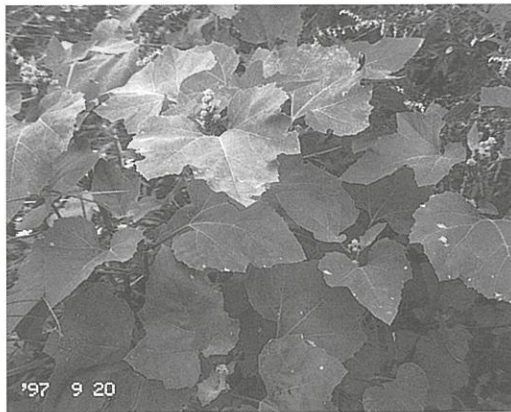
答弁 思いきった厳選が行われ、つめこむ量は減らしていくと聞いている。幼稚園教諭を増やす考えはない。

独居老人と若者のための「ふれあい住宅」の建設について

政和会

質問 一人暮らしの高齢者にとって大切なのは、地域社会との交流を絶やさないと、高齢者の孤独の解消と事故の未然防止の施策が必要である。例として、福祉電話、友愛訪問、緊急通報システム、一声かけて安否を確認する給食配達サービスなどがあるが、本市独自に生活福祉専攻科の女子大学生と女性独居老人が共に助け合って暮らす公営ふれあい住宅の建設を考えると。本市の65才以上の男女別独居老人世帯数と人口は。

答弁 介護保険法に基づきデイサービス・ショートステイ等、家庭内の介護も必要である。現在のホームヘルパーで充足できるか検討が必要。本来なら生まれた所で生活が、教育なり他の面でも良い。下水道や、道路整備による時間的短縮も福祉につながる。また



◀強害外来雑草(インド原産)イチビ

電化高速化を図り、家族一緒に暮らすのが良い。本市の独居老人世帯数は平成10年6月1日現在男217世帯、女1、317世帯計1、534世帯、65才以上の高齢者人口は平成9年度末で12、863人。

質問 みどり豊かな自然を活かし家族の絆をより確かなものにするために心身の洗濯場、保養所としてのオートキャンプ場の設置を。

答弁 都会には緑が少ない。北陵コミセン、三岳山の家、大呂自然休養村を充実整備をする中で考えてはと思っている。

質問 保安林を活かした森林浴、ハイキングコースの設置を。

答弁 森林浴、ハイキングに、林道灰谷線5、090m、童子線1、320m、河谷線1、323m、ロクク線2、387mを更に整備したい。

質問 強害外来雑草対策は。

答弁 多く食すると家畜が死亡すると聞いており市というより広域で対処しなければと考える。



市街化調整区域内での新築規制緩和を

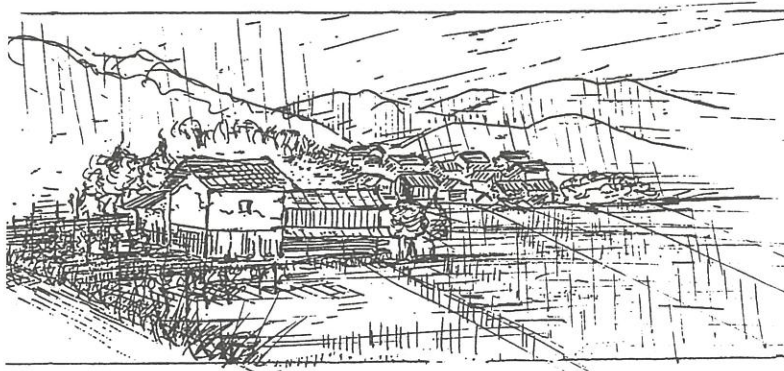
新政会

質問 国の地方分権推進委員会が行った第二次勧告は、今まで以上に積極的な市町村合併を推進するとしている。市長の考え方は。

答弁 勧告は合併の必要性を打ち出しているが、大切なのは住民の意思。府は各自治体の意向を大切に、押しつけない方針だ。近辺にはまだ機運が出ていない。

質問 合併すれば市町村ごとに類似した施設を設ける必要がなく効率的だがメリット、デメリットはどのようなのか。

答弁 メリットは生活圏が統一されること。デメリットは各地域の意思が本当に反映されるか懸念がある。本市の場合都市基盤整備をかなりしており、周辺市町とは差が出てくるし、調整が難しい。



質問 市街化調整区域において農地法などのしほりがあり、農家の長男はUターンをして家を建てようとしても難しい。府土木事務所もかなり厳しい指導をする。同居することは難しい時代にこれでは自宅介護で親をみたくてもみられない。府へ事例をあげて、時代に即応した緩和が出来ないものか伝えてほしい。

答弁 法律からいえば規制したいし、現代の生活実態からいえば、こういう問題こそ規制緩和して、若い人に帰ってきていただき、地域のふる里づくりにも、また自宅介護の点からも、ひとり暮らしを防ぐという点からも、おっしゃる通りと思う。回答は難しい。今しばらく成り行きを見守らせてほしい。

由良川河川敷利用計画・同和対策事業・介護保険制度の準備体制

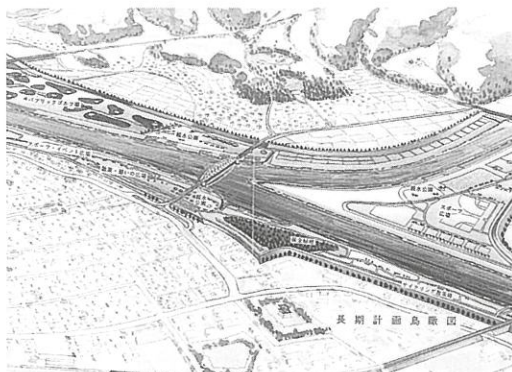
福政会

質問 治水上の安全、水資源の確保、昭和63年計画策定の具体策。

答弁 川を中心の変更等改修の進捗に合せて考えていきたい。

質問 同和の住宅新築資金貸付事業は平成8年度終了したが、現在の利用件数、回収率、返済最終年度は。回収率の向上しない理由は。

答弁 利用件数 1、631件、完済数806件、滞納件数457件、一度も返済なし38件、回収率平成8年末28・1%、最終年度平成33年度。景気の悪い中、回収に努力しているが、今後も連帯保証人と連絡、訪問、督促など努力する。



◀「由良川河川敷利用計画」

ス内容に地域格差が出てこないか  
③要介護認定が公平に行われるか  
この三つの問題が心配。ドイツでも平成8年より介護制度がスタートしたが、多くの問題を抱えており、より良い介護保険制度を確立してほしい。

答弁 保険加入は40才以上60才未満。個別に市町村に支払い、また年金から天引き、第2の国民健康保険にならないよう努力する。サービス内容については地域の違いによって料金の差、メニューによって格差は生じて来る。本市は準備委員会5名体制で進めている。要介護認定員ケアマネージャーを府下で1、000名（要介護者40〜50名に1人が基準）。介護は在宅サービスと施設サ

サービスがあり、在宅は介護の必要度に応じて給付、額に限度があり、費用は6万円から29万円程度になる。自己負担は費用の1割、施設入所の場合、食費も同様利用者負担、低所得者には高額介護サービス費や食費負担については低い額を設定している。



### 請願の審査結果

◆消費税の減税をもとめる請願

【不採択】

◆厚水内線に係る土地収用に関連し、業者に支払われた費用が妥当であるかどうかの調査を市に求める請願

【不採択】

◆「乳幼児医療費無料の制度を国に求める」意見書提出の請願

【継続審査扱い】

◆介護保険制度の改善のために国への意見書を求める請願

【継続審査扱い】

### 議会推薦の農業委員

- 武田光正（今回推薦）
- 田中泰治
- 和泉すゑ子
- 平野 力
- 高日音彦（市助役）



### 可決した決議

全ての核実験禁止と核兵器廃絶を求める決議

核兵器の開発は人類最大の愚行であり、それによって人類は常に存亡の危機にさらされることになった。

にもかかわらず、核保有国は身勝手な理屈をつけて核実験を繰り返し、また、このたびは、インド、パキスタン両国が、国際世論を無視して実験を強行した。際限のない競争は、人類の未来を閉ざす暴挙であり、如何なる理由があろうと断じて許すことはできない。

唯一の被爆体験を持つ我が国は、あらゆる国の核実験禁止と地球上の全ての核兵器廃絶を全世界に訴え、その目的達成のため、国際社会において指導的役割を果たす権利と責務を有している。

故に、本市議会は、政府において、核拡散防止にとどまることなく、全ての核実験の即時禁止と既存核兵器の完全廃絶へ、積極的かつ具体的行動を起こすよう強く求めるものである。

以上、決議する。

### 4市合同で研修会

—— 地方分権の推進など学ぶ ——

去る7月21日、宮津・舞鶴・綾部・福知山の4市議会議員合同研修会が綾部市内で開催された。この研修会では、綾部市出身の自治省事務次官松本英昭氏が「地方行政の諸問題について」と題して講演され、4市の議員・職員160人が熱心に聴講した。

この講演で松本次官は「我が国は、明治以来、西欧諸国に追いつけ、追い越せ、を目標として走り続け、今や世界の中でも有数の成熟社会となったが、同時に世界に類をみない少子・高齢化社会ともなった。また、今までのような右肩上がりの経済成長が期待できなくなつたこと、価値感の多様化、量的拡大よりも質の重視などの大きな環境の変化もあり、これまでの国のシステムでは対応できなくなった。そのため我が国は今、内政の転換が進行中で、一極集中型のシステムから、地方公共団体がそれぞれの個性を発揮するため地方に権限移譲を行うと同時に民間に対する規制を緩和して民間活力を導入する。地方公共団体は自から事業を決め、国の制約を受けな



あきた  
**穂田、藤井氏が当選**

Ⅱ市議会議員補欠選挙Ⅱ

故奥田春美、山口守両議員の死去に伴う欠員2名の補欠選挙が、7月19日、市長選挙と同時に告示されたが、立候補者が2名であったため、無投票で穂田司正氏、藤井節子氏の当選が決定した。

《穂田司正氏》



・市内奥野部32  
・66歳  
・無所属

《藤井節子氏》



・市四下篠尾803  
・54歳  
・日本共産党

両議員の任期は、来年4月30日まで。  
なお、常任・特別委員会の所属は、9月定例議会にて決定になる。

**議会日誌**

【6月から7月】

《6月》

- 4日 定例会開会（議案の説明）
- 12日 本会議（議案質疑、一般質問）
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問、請願上程）

《7月》

- 7日 議会だより編集委員会
- 14日 近畿市議会議長会  
大分県杵築市議会視察来市



15日 全国議長会基地協議会  
議会だより編集委員会

17日 長野県塩尻市議会視察来市

21日 北部四市議会議員研修会

北部四市議会連絡協議会

22日 由良川沿川市町議会関係委員会正副委員長会

23日 宮城県気仙沼市議会視察来市

24日 北海道富良野市議会視察来市

27日 自民クラブ、市民クラブ行政視察（29日）

28日 福政会行政視察（30日）

大分県中津市議会視察来市

訂正とお詫び

前号（平成10年6月1日発行）

の議会だよりの第4面「議会選出

により議員が所属する各種委員

会・協議会等」の表中、「中丹伝

染病隔離病舎組合議会議員」とあ

りますのは、「中丹伝染病隔離病

舎組合議会議員」の誤りです。訂

正し、お詫び申し上げます。





▲議会だより編集委員会

編集後記

6月議会では、核実験禁止、核兵器廃絶を求める決議をあげました。改めて平和について考えていきたいと思えます。

7月に参議院選挙、市長選挙・市議会議員補欠選挙が行われました。市議会には新しい2人の議員が加わりました。26人の議員、残された任期、市民生活の向上のため取り組む決意です。